

第6回中予救急画像研究会

開催日時：令和5年10月21日（土曜日） 14:00～17:30

開催場所：ホテルマイステイズ松山 3階 ドウエミーラ

参加には**事前登録**が必要になります。

9月1日(金曜日)から10月16日(月曜日)までに

<https://onl.bz/zcHG1mD>

もしくは右のQRコードより、Googleフォームにて
メールアドレス、お名前、ご施設名を登録ください。



参加定員:100名(先着順)

参加費：500円

プログラム

総合司会 松山赤十字病院 前田恵

【開会の挨拶】

14:00～14:10

中予救急画像研究会代表世話人 医療法人慈愛会梶浦病院 相原聡

【情報提供】

14:10～14:40

『造影剤と画像診断の会員専用サイト ラジサポ「F」の紹介』

富士製薬工業株式会社 西日本支店 濱孔一

『救急医療におけるキャノンのヘルスケアITの取り組み

～ 医療情報ソリューション Abierto ～』

キャノンメディカルシステムズ株式会社

エンタープライズ画像ソリューション部 木村健宏

【一般演題】

座長 済生会松山病院 橘知宏

川崎由樹

～ Session 1 ～

14:40～15:30

「Case1」一時的な発語障害・血圧高値を認めた一例

愛媛県立中央病院 森山和俊

「Case2」左下腹部痛

愛媛県立中央病院 山本航己

プログラムは2枚目に続きます

共催：富士製薬工業株式会社 キャノンメディカルシステムズ株式会社

後援：公益社団法人愛媛県診療放射線技師会

「Case3」右下腹部痛

愛媛県立中央病院 植田菜緒

「Case4」右麻痺・失語・過呼吸・右手足の痙攣

梶浦病院 相原聡

「Case5」患者さんの症状と腹部単純画像から腹部病変を予測できた症例

村上記念病院 山口勇実

—休憩—

15:30～15:40

～ Session 2 ～

15:40～16:20

「Case6」頭痛を訴え、意識消失した症例

松山赤十字病院 渡部幸仁

「Case7」心窩部痛を訴えた症例

松山赤十字病院 菊池圭容

「Case8」急性腹症

市立宇和島病院 情家俊和

「Case9」突然の呂律難、共同偏視、全失語、けいれんなどを生じた症例

愛媛大学医学部附属病院 末国宏

—休憩—

16:20～16:30

【特別講演】

16:30～17:20

座長 愛媛県立中央病院 岡本隆

「愛媛の救急画像で知っていて損しないSFTSって何なん？」

愛媛県立中央病院 感染症内科 本間義人先生

【優秀演題賞発表及び閉会の挨拶】

17:20～17:30

松山市民病院 徳丸直起

本会で取得できる認定ポイントは以下のとおりです。

*日本救急撮影技師認定機構：2単位 *日本X線CT専門技師認定機構：3単位

事務局

医療法人慈愛会 梶浦病院

Tel：089-943-2208(内線741)

代表世話人

相原 聡